



令和2年12月17日

子どもたちに創造性を育む先生を育てます
創造性専門教員育成カリキュラムの国際的な研究スタート
『クリ・ラボ フォーラム 2021』オンライン開催

◆発表のポイント

- ・令和3年1月9日（土）米・中国等のSTEAM創造性教育研究者と共同でクリエイティブ・エデュケーター（CE）育成の研究を始める『クリ・ラボフォーラム 2021』をオンライン開催します。
- ・午前中は、米国・レスリー大学等の海外の研究者と岡山大学教育学部国際創造性教育研究チーム（クリ・ラボ）の教員の合わせて8人の研究者による共同討議と、共同研究スタートの確認
- ・午後は、東京大学中邑賢龍教授による岡山市内の小・中・高校の先生を「生徒」に特別授業『おもしろい学校』を開講するなど、5つの「創造性セッション」をオンライン配信します。

岡山大学教育学部国際創造性教育研究チーム（以下クリ・ラボ）を20人の教育学部を中心とした研究者で発足しました。構成メンバーは、音楽、美術等の芸術系の研究者だけでなく、理科、数学等の理系、技術等の工学系、保健体育、家庭等の身体表現系、英語、国語等の文系の多くの領域の研究者が所属しています。クリ・ラボでは、①STEAM・創造性教育の研究推進と共に、次世代の新しい文化、技能を創造性（Creativity）や感性によって拓くことのできる人材育成・教育活動を、教育施設や企業において推進できる②「クリエイティブ・エデュケーター（CE・Creative Educator）」を育成し、国際的に育成プログラムの認定ができるよう、国内外の研究機関と共にカリキュラムの研究をすすめます。

創造性や感性は、五感を伴った身体感覚等によって、自然や社会環境から価値を発見し、共有し、生成し、拡散させることができるため、たくさん視点をつくるのが大切です。これまでの系統的な学習プログラムだけでは補えなかった経験的な価値の追求によって、将来、新たな、ユニークな研究領域が生まれ、そこから、学術文化の独自の振興、科学技術の発展、イノベーションも期待されます。

研究のスタートとして、令和3年1月9日（土）10：00から「CRE-Lab.FORUM 2021（クリ・ラボ フォーラム 2021）『視点の視点』」をオンライン開催します。

午前は 米国・レスリー大学、中国・浙江師範大学、四川師範大学等のアメリカ、アジアの研究者8人による各国の創造性教育の現状の報告と共同研究へ向けての方向性を確認します。

午後は岡山市内の小・中・高校の教員へ向けた東京大学の中邑賢龍教授による創造性レクチャー「おもしろい学校」のライブ配信等5つの「創造性セッション」を行います。



PRESS RELEASE

◆研究者からのひとこと

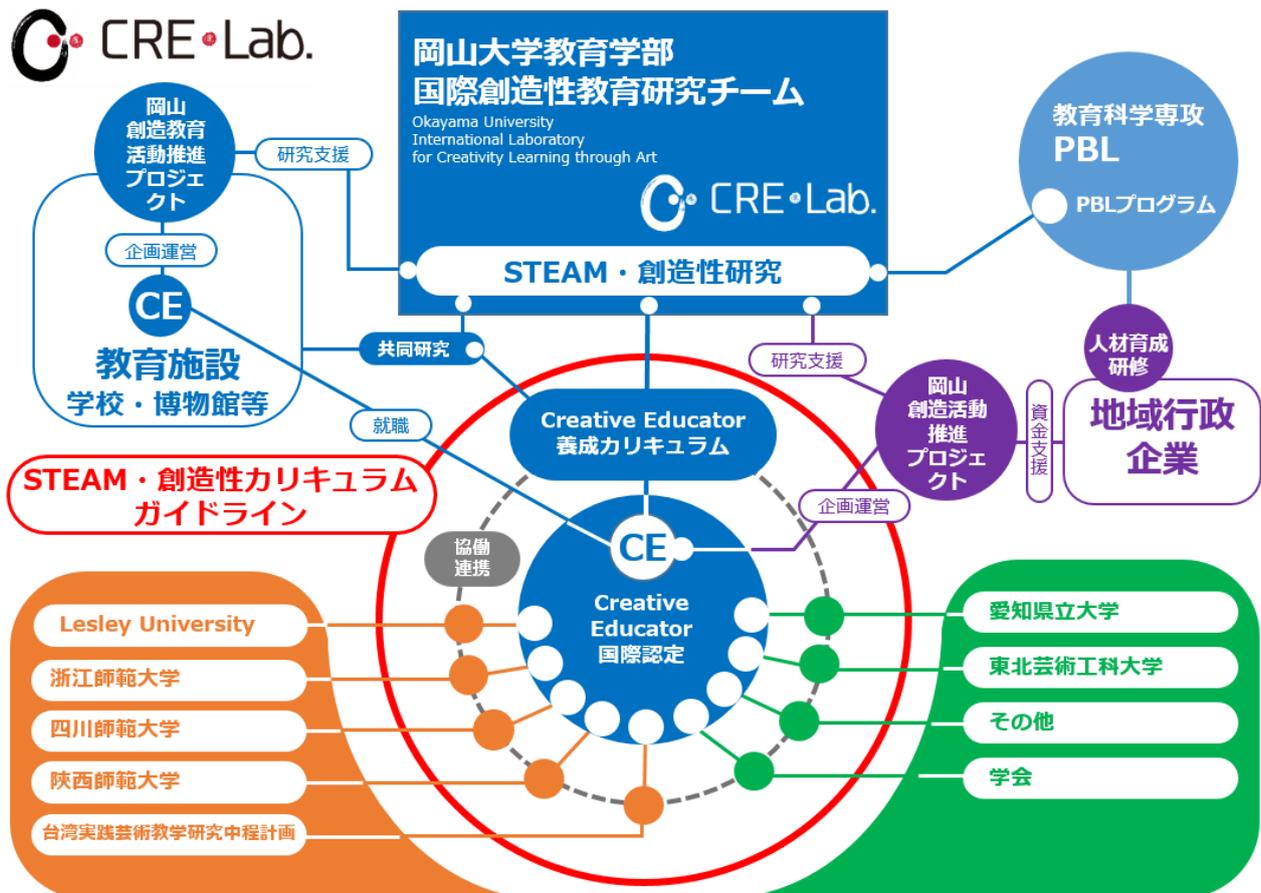
コロナの時代、おうちの時間。これからの時代どんな学びが子どもたちに必要でしょうか。こんな家庭教材をクリ・ラボから発信して教員を通じて子どもたちに取り組んでもらいました。
「A4のコピー用紙1枚で家族を守ってごらん」
「風が見える魔法がかけられましたよ。窓の外はどう見える？」
こんなことを考えながら、科学や表現の道へ子どもたちが行ってみたい！！と思える時間をこれから考えていきます。



清田教授

■発表内容

<クリ・ラボの概要>



岡山大学教育学部で創造性を培うカリキュラムを設定し、クリエイティブ・エデュケーター（CE・Creative Educator）を育成します。CEは、学校教育でのプロジェクト学習や、創造性育成の中核となるだけでなく、本学教育学研究科（大学院）等でのPBL（プロジェクト型学習）において地域や企業との連携のハブの役割も果たします。また、上図の中の国内外の研究施設の研究者との連携によって研究を進めていきます。



PRESS RELEASE

<クリ・ラボ ホームページアドレス>

<https://www.okayama-u-cre-lab.com/>

<フォーラムの内容>

岡山大学教育学部交際創造性教育研究チーム（略称：クリ・ラボ）Okayama University International Laboratory for Creativity Learning through Art は、日々の生活で見過ごされがちな面白いこと、楽しいこと、美しいものを芸術や科学などでの学びの力で発見し、社会と環境、自分自身の中で、もっと価値を高める子どもたちを育む教育の研究を、世界中の研究機関や企業、教育・福祉施設等と共に進めています。

見たり、聞いたり、触ったりと身体全体からの感じ取りから始まる、言語や文化の異なりを越えた、創造性や感性の世界で一緒に子どもたちの学びを考えてみませんか。

<フォーラムのテーマ>



LEVEL ⇔ EYE ⇔ LEVEL

視覚 ⇔ 視覚

今の教育に必要なことは、子どもを含めすべての人間が新たな視点を作り出すための視点をつくることではないでしょうか。本フォーラムでは「視点の視点」というテーマでこれからの創造性教育について考えていきます

<プログラム>

9:30 開会オープニング

- 学生による「視点の視点」をテーマとした、美術、音楽の学生による表現アクティビティ
- ご挨拶 岡山大学大学院教育学研究科 研究科長 三村由香里
- 岡山大学教育学部国際創造性教育研究チームに関する趣意 同 教授 清田哲男

10:00 クリ・ラボ・フォーラム

各国の研究者で「クリエイティブ・エデュケーター（CE）育成プログラム」に向けたオンラインフォーラムです。



PRESS RELEASE

講題・テーマ

- ①各国のSTEAM 創造性教育の状況と課題の報告
- ②創造性教育に必要なもの
- ③教員養成の創造性教育カリキュラムに必要なもの
- ④今後の研究の方向性

パネリスト

- | | |
|--------------------|----------------------|
| ○Susan Rauchwerk 氏 | Lesley University 教授 |
| ○Nicole Weber 氏 | Lesley University 教授 |
| ○李 力加氏 | 浙江師範大學教師教育學院 教授 |
| ○陶 旭泉氏 | 四川師範大學美術學院 教授 |
| ○萬 榮瑞氏 | 台湾兒童美術教育學會 |
| ○吳 正雄氏 | 台湾教育部視覺藝術教學 實踐研究中程計画 |
| ○大橋 功氏 | 岡山大学大学院教育学研究科 教授 |
| ○稲田 佳彦氏 | 岡山大学大学院教育学研究科 教授 |

コーディネーター

- | | |
|---------|------------------|
| ○清田 哲男氏 | 岡山大学大学院教育学研究科 教授 |
|---------|------------------|

13:00 創造性セッション①

中邑賢龍（東京大学 先端科学技術研究センター 教授）× 岡山県内の小中高等学校教員
『おもしろい学校』

岡山県内の小中高等学校の先生方が「生徒」になって、中邑先生の「おもしろい」とは何かの授業を受ける様子をオンラインで参加者に配信します。授業では、創造性を育むとは何かを考えます。

14:00 創造性セッション②

川西弘幸（備前市立西鶴山小学校）× 酒向治子（岡山大学大学院教育学研究科 准教授）
『フューチャールームの子どもたち』

フューチャールームは備前市の小・中学校に整備された、ICT を活用して、子どもたちがフレキシブルに机、いすを動かせる環境の中の教室です。その環境の中で、子どもたち全員でつくる授業とはどのような授業でしょうか

14:30 創造性セッション③

岡山県立玉島高等学校 × 稲田佳彦（岡山大学大学院教育学研究科 教授）
『あたらしい学びの属性』



PRESS RELEASE

スーパーサイエンススクール（SSH）指定校の玉島高校で、創造的な科学との出会いの授業の実践として、芸術の時間をつかった、身の回りのものを「新しい属性」で分ける「視点を発見」します。探求のはじまりです。

15:00 創造性セッション④

岡山市立福浜中学校 × 清田哲男（岡山大学大学院教育学研究科 教授）

『国際理解は人間理解』

中学生が、異なる言語を使う中国人と「コミュニケーションをとる」事の意味を考えます。異文化の人だけでなく、隣の友達のこと言葉を使わずに理解しようとするれば、人間のことも理解できるかもしれません。生徒による「コミュニケーション実験」です。

15:30 創造性セッション⑤

花里裕子（東京都中・高等学校美術教員） × 大橋功（岡山大学大学院教育学研究科 教授）

『体温の時間』

東京で美術の授業に創造性教育をすすめておられる花里先生が、創造性による生徒の変容の姿を映像を交えて紹介くださいます。

<参加のお申込み>

お名前・ご所属・お電話番号・メールアドレスを明記の上、

12月27日（日）までに、下記の申込アドレスにメールを送信してください。

申込みアドレス：application@okayama-u-cre-lab.com

12月末までに、こちらよりご参加用のID・パスワードをメールにてお送りいたします。

<お問い合わせ>

岡山大学 大学院教育学研究科

教授 清田 哲男

（電話番号）086-251-7663

（FAX） 086-251-7663



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY



岡山大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。